



忍ヶ丘だより

宮崎学園短期大学

発行 宮崎学園短期大学
編集 学生募集対策委員会
〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納丙1415
電話 (0985) 85-0146



若者に求めたい
「こたげてげ」への挑戦
学長 山下忍

宮崎学園短期大学は、二十一世紀を迎えた二〇〇〇年の七月に、「FD宣言」なるものを学校の内外に発しました。
その冒頭においては、「本学は、宮崎県を中心とする若者とその保護者にとって、創立の当初から今日に至るまで、かけがえのない学びの場であった。その存在意義の強さ、大きさを再認識した時、本学は、学ばんとする若者のために、何があるろうと、現在から未来にわたって安井息軒先生ゆかりのこの地に在り続けなければならぬ。」と覚悟のほどを記述し、続いて、「本学が有している数多くの特色魅力、意気込み等々を、迫力を持って発信し、入学者すべてに深い充実感満足感を与える教育を実現しなければならぬ。」と、為すべきことの何たるかを明記し、その実践に努めることを表明しました。
そうした覚悟と使命感のもとに、本学は、その後の十年の歩みを重ねてきました。
学校の所在が、宮崎県清武町から、宮崎市清武町へと移り変わった今、その覚悟と使命感、並びに実践力をより強固なものにしよう、と、気持ち新たにしています。
四月七日には、新入学生として三二〇名の若者を迎えることができましたが、私は、本学を志望し、入学してくれた学生一人ひとりに、在学期間の一日一日が、徹底した「こたげてげへの挑戦」であることを求めました。
卒業時の就職決定ひとつにしても、「まあ、適当に」という姿勢で願いが成就するはずがありません。頭を鍛え、体を鍛え、心もまた鍛練するために、「こたげてげ」になりがちな己に厳しく鞭を当て、払うべき努力をしっかりとと払い続けていくことが不可欠です。私は、宮崎県を中心とする若者たちが、志高く、まさに、「こたげてげ」の生き方とは無縁の、活力ある日々を過ごしてくれることを、心底、願ってやみません。若者に求める以上、本学教職員もまた、志高く教育活動を行うことを誓って、年度当初の学長のこたと致します。

本学医療秘書コース 100%合格(19名)

- 日本医師会認定医療秘書試験
- 医療保険請求事務実技試験
- 日医IT日レセ操作業務者(認定オペレーター)資格試験



古賀総合病院勤務
平成22年人間文化学科
医療秘書コース卒業
児玉 仁子
(宮崎県立宮崎南高等学校出身)

自分の信じる道

私は、四月一日から古賀総合病院で医師事務作業補助者として働いています。部署は診療情報管理室です。仕事内容は、診断書・診療記録等の代行記載・診療に関するデータ整理、院内がん登録の統計・調査、医師のカンファレンス等の準備など主に医師の事務的な仕事のお手伝いです。医師・看護師をはじめ、全てのスタッフからとても期待されている職種です。就職をして感じたことは、信頼関係に繋がる報告・連絡・相談がとても大事なことだということ。だから、学生のうちから習慣づけておいた方がいいと思います。私が短大生活において頑張ったことは、資格取得です。合計十五の資格を取得することができました。特に印象に残っているのは、医療秘書コース全員で合格した日本医師会認定医療秘書・医療保険請求事務・日医IT日レセ操作業務者オペレーターの三つの資格です。クラス全員が一致団結して、休日も大学に集まり、みんなで教え合いながら頑張った結果です。何よりクラス全員で合格出来たことが本気で嬉し、達成感を感じました。資格については、面接のときに役に立つので、ぜひ進んでください。資格取得に挑戦してみてください。
後輩のみなさんに伝えたいことは、できるだけ早くから就職指導室に顔を出して、自分の名前と顔を佐土原先生に覚えてもらうということ。今は就職難の時代で、私も就活に関してとても苦労しました。そんなときに応援してくれたのが、家族・先生方・友人です。応援してくれる人がいるのだから、絶対に諦めないでください。最後まで自分の信じる道を進んで、夢を叶えるために努力をすることは、決して無駄なことではありません。
私の今後の抱負は、診療情報管理士の資格を取得することです。難しい試験ですが、自分自身をさらに高めるためにも、地道に勉強していきたいと思っています。

児玉さんは平成二十一年度
全国大学実務教育協会会長賞
を受賞しました。

音楽科に新コースが
誕生します
● 伝統音楽コース
● ダンス・ミュージカルコース

人間文化学科の学生たちは一般教育科目・専門教育科目の学びをとおして大学ならではの教養を身につけながら、進路に直結する資格取得にも懸命な努力を続けています。
そのための支援も充実しており、例えば、児玉仁子さんが書いて下さっている三つの資格についても、通常の授業の外にそれぞれ特別講座が設けられていて確実に力をつけることができます。授業や特別講座を主体的に受講し、さらに自分たちで勉強会を繰り返し、三つの試験の完全合格を成し遂げた皆さんに心からの拍手をおくりたいと思います。
医療秘書コースだけでなく、人間文化学科ではどのコースに身を置いても、様々な免許・資格を取得することができます。それぞれのコースで学ぶ学生たちが先輩方をよきモデルとして努力し、各自の夢を実現してほしいと願っています。
(人間文化学科長 後藤多津子)

水河期でも就職に強い
宮崎学園短期大学
昨年度は世界的金融危機の影響で求人数が激減いたしました。そのような「超就職水河期」と言われるなか、就職率96%を達成することが出来たのは、伝統的な信頼による求人、資格職の強み、個別の細やかな就職指導、そして学生の積極的な就職活動によるところが大きいと思います。
今年度は就職推進プログラムも採択され、より一層学生の就職支援が充実します。学園全体で、今年度の厳しい就職戦線を打破してまいりたいと思います。
(就職指導課長 佐土原 敦)

夢に向かって一歩一歩
人間文化学科の学生たちは一般教育科目・専門教育科目の学びをとおして大学ならではの教養を身につけながら、進路に直結する資格取得にも懸命な努力を続けています。
そのための支援も充実しており、例えば、児玉仁子さんが書いて下さっている三つの資格についても、通常の授業の外にそれぞれ特別講座が設けられていて確実に力をつけることができます。授業や特別講座を主体的に受講し、さらに自分たちで勉強会を繰り返し、三つの試験の完全合格を成し遂げた皆さんに心からの拍手をおくりたいと思います。
医療秘書コースだけでなく、人間文化学科ではどのコースに身を置いても、様々な免許・資格を取得することができます。それぞれのコースで学ぶ学生たちが先輩方をよきモデルとして努力し、各自の夢を実現してほしいと願っています。
(人間文化学科長 後藤多津子)

平成23年度 入試相談会 日時・会場

◎相談会場で入試要項を配布します。志望学科の内容や、各入試の説明をします。

相談会日時	会場	本学	宮崎	延岡	日向	都城	小林	日南
第1回 6月12日(土) 13:00~16:00		○			○		○	
第2回 6月13日(日) 10:00~13:00			○	○		○		
第3回 7月11日(日) 10:00~15:00		○	オープンキャンパス (中止の場合入試相談会予備日 7/7(土)午前中)					
第4回 8月8日(日) 10:00~15:00		○	オープンキャンパス					
	8月22日(日) 10:00~15:00	○	オープンキャンパス予備日					

会場 宮崎:宮日会館 延岡:延岡社会教育センター 日向:JA日向会館
都城:都城市コミュニティセンター 小林:小林市中央公民館 日南:日南市保険福祉総合センター
◎各会場は随時説明を行っています。自由にお入りください。(終了前30分までに)

インタビュー入試 日程

エントリーシート提出締切日	1次(グループ面接)	2次(個人面接)
第1回 6月21日(月) (12時必着)	6月26日(土)	7月3日(土)
第2回 7月20日(火) (12時必着)	7月24日(土)	7月31日(土)
第3回 8月16日(月) (12時必着)	8月21日(土)	8月28日(土)
第4回 9月6日(月) (12時必着)	9月11日(土)	9月18日(土)

登録書発送 第1回・2回は 8月中旬
第3回・4回は10月上旬

出願期間 ※10月8日(金)~15日(金) 12時必着

合格発表 11月1日(月) 12時発送

入学手続締切 11月20日(土) 12時必着

※出願は「登録書」の通知を受けた者のみ、願書等の必要書類を提出することができます。

夏のオープンキャンパス

7月11日(日)
8月8日(日)
予備日 8月22日(日)
無料送迎バスを用意しています。

ミニ講座、ピアノの基礎、卒業生との座談会、入試相談コーナー、ミニコンサート、学生作品展示など、多くの催しがあります。生徒さんだけでなく、ご父母の方や先生など、どなたでもおいで下さい。

同時開催 夏期音楽講習会

音楽関係進学希望者、又は迷っている人、コンクール参加者でミニレッスンを希望する人どなたでもどうぞ!!
◎申し込み希望者は短大音楽科来平までご連絡ください。

奨学生制度

特待生推薦入試(全学科共通)

特待生は在学中の学費の内、授業料の全額(1,080,000円)が免除されます。ただし、1年次の成績及び学生生活を考慮して、2年次にはこれが取り消されることもあります。特待生に採用されなかった場合でも、成績優秀な者は、選考審査のうえ本学学生として受け入れられます。その際の[入学手続締切日]は、特待生推薦入試合格者と同日になります。なお、この特待生に採用されなかった場合「奨学生制度申込書」を提出していれば、以下の免除制度の選考対象となります。

1 授業料及び入学金の免除

出願時に「奨学生制度申込書」の提出が必要です。
この制度は、「長期履修学生入試」以外の入試が対象となります。成績等に応じて、以下の3種類の免除があります。
①入学年度授業料の全額(540,000円)が免除されます。(10名程度)
②入学年度授業料の半額(270,000円)が免除されます。(10名程度)
③入学金(200,000円)が免除されます。(30名程度)

2 兄弟姉妹等奨学生 (すべての入試対象) **新設!**

出願時に「奨学生制度申込書」の提出が必要です。
兄弟姉妹及び本学卒業生子女は、入学金の半額(100,000円)が免除されます。

3 遠隔地奨学生 (すべての入試対象)

出願時に「奨学生制度申込書」の提出が必要です。
沖縄県及び離島地出身者を除く地域で、自宅から通学が不可能と思われる地域(宮崎県西臼杵郡及び延岡市の一部、日向市の一部、椎葉、諸塚、美郷、西米良、西都市の一部、小林市の一部、串間市の一部、えびの市の一部、鹿児島県の霧島市以西、鹿屋市以南、その他県外)出身者のうち、経済的理由・成績などを総合的に判断し、入学金の半額(100,000円)が免除されます。

4 離島等奨学生 (すべての入試対象) **新設!**

沖縄県及び離島地出身者が対象になります。
①受験に要する交通費を本学の規定により支給します。
②本学に入学する際には、入学金の半額(100,000円)が免除されます。
※入学願書等に記載された保護者の住所表記により、申請を受理したものとしますので申請は不要です。

※上記の奨学生制度(1~4)は重複採用はありません。
※上記の1と3は、選考審査のうえ採用となります。
※願書提出後の「奨学生制度申込書」の受付はいたしません。

短大生活で学んだこと



元宮ちどり福祉会 ちどり保育園勤務 平成22年保育科卒業 黒木 友香 (宮崎学園高等学校出身)

「保育士になりたい」という夢を掲げ、私は宮崎学園短期大学に入学しました。短大生活では保育の専門的な講義が充実しており、熱心な先生方からご指導していただいたことが印象的で、4回の実習を通してよりいっそう保育士の魅力は深まってきました。

短大生活での思い出は学友と過ごした毎日でした。保育士や幼稚園教諭などの資格取得に向けて励まし合い、時には良きライバルとして刺激し合い、切磋琢磨して喜びや苦しさを分かち合えたことは忘れられない思い出となっています。同じ夢を持つ学友だからこそ支えたり支えられたり出来たのだと思います。そして、短大生活では学友はなくてはならない大きな存在で、卒業した今でも大切にしていきたいと感じています。

全国保育士養成協議会会長賞という賞をいただいたことは非常に嬉しく思っており、これから保育士として働いていく中で自信につなげていけるよう努めていきたいです。現在は、保育園に勤務していますが、日々の仕事の中で特に保育園や幼稚園実習施設実習で学んだことが役立っています。子どもの思いや心情を汲み取り、ありのままの姿を受容する姿勢、喜びや悲しみを共感し合う心などを持つ保育士を目指していきたいと考えています。今は、何よりも子どもたちと交わす会話や笑顔に囲まれ、子どもの成長を身近に感じられる保育士になりたいという夢をかなえられた喜びを、実感しています。「先生」と呼ばれることがこんなに嬉しくて温かいものだと思ふとき、また保育士としての自覚につながっていくものだと改めて考えさせられています。短大生活で学んだことを胸に、子どもから信頼され、心に残る保育士になれるよう日々邁進していきたいです。

黒木さんは平成二十一年度 全国保育士養成協議会会長賞を受賞しました。

卒業生からのメッセージ

夢を叶えた今、思うこと

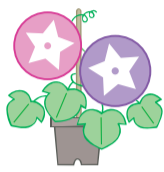


宮崎江南介護老人保健施設 サンピュー宮崎勤務 平成22年 専攻科福祉専攻修了 新名 由佳 (宮崎日本大学高等学校出身)

介護福祉士として働きたいという夢を叶えて二週間が過ぎました。お年寄り一人ひとりとしっかり向き合い、少しでもお年寄りの役に立ちたいという一心で介護の道を選びました。実際に働いてみると、一日の業務をこなすことで精一杯になり、わずかな時間を見つけて利用者者とコミュニケーションをとるといって毎日、これで本当に向き合えているのだろうかと思ひもありません。しかし、時間を見つけては話を傾け、どんな小さなことでも利用者のニーズを受けとめようと心がけています。

ある日のこと、痛みがあり眠れない利用者のそばにいて手を握っていたら、「あなたにいてくれて良かった。いつもありがとうね」と声をかけてくれました。その瞬間、涙が出るくらい嬉しかったのと同じように、あらためてこの仕事にやりがいを感じ、こんな私でも誰かの役に立てているのだと実感することができました。実際に介護の現場で働いていると、自分の言動一つひとつに責任を持たなければならぬこと、利用者や家族にとっては介護のプロと思われることを考えると在学中にもっと学んでおけばよかったと思うことも多々あります。学生のうちに学べることは積極的に学び、多くの知識や技術を身につけることで将来役に立つことがたくさんあると思います。さらに、失敗を恐れてためらい何もしないよりも、利用者の中に飛び込んでいって、介護を通して自分を表現することが大切であることに気づくことができました。

まだ働き始めて間もなく、勉強の毎日ですが、「ありがとう」の言葉に、胸いっぱいになるくらいたくさんの幸せをもらっています。これからも、利用者一人ひとりと向き合い、いつも明るく笑顔で充実した毎日を送りながら、自分の理想とする介護福祉士になれるよう努力していきます。



社会人の一員になって



植松エネルギー(株) 新名爪給油所勤務 平成22年 人間文化学科 文化ビジネスコース卒業 長谷川 聡 (宮崎県立妻高等学校出身)

私は、平成二十年に人間文化学科文化ビジネスコースに入学しました。短大生活は、自分にとってまったく新しい環境で充実した生活を送ることができました。就職活動時は、不景気の影響もあり、内定をもらうのが厳しい状況でした。そんな中、今の会社に内定を頂くことができました。今、就職活動をしている二年生は大変だとは思いますが、最後まであきらめないでがんばって下さい。社会人になって二週間しかたつていませんが、今は仕事内容を頭に叩きこむ毎日です。学生のときは違い、自分から動かないと先輩の方も教えてくれることはありません。また、自分の行動一つ一つが会社の評価に繋がるので、常に会社の看板を背負っていることを自覚しないとけないと感じています。

その分楽しみもたくさんあります。私も今はきつい部分もありますが楽しんで仕事できています。毎日が勉強で教わることでびっくりです。自分を伸ばすために、今は気になったことは積極的に質問して仕事内容を覚えるようにしています。まだ、いろいろと反省する部分がたくさんありますが、先輩方の話を率直に聞き、吸収していくようにしています。会社に就職してまだ間もなく、一日一日が一杯ですが、毎日を楽しんで過ごしたいです。充実した生活を送るようになりたいです。そして、社員やお客様に信頼される社会人として活動していくように日々精進したいと思っています。

春忍エンジョイ!

四月に行われる春の忍ヶ丘祭は、一年生にとっては学校や友達と少し慣れ親しんだ頃に開催される分、緊張する場面はありますが、同じ科やクラスの友達先輩後輩とたくさん交流を深めることが出来る場です。今年も、共に汗を流し、グラウンドでスポーツ競技を行ったり、息を合わせてダンスをしたり、団が一致団結して優勝を競い合います。大学生で運動会!と思うかもしれませんが、楽しい行事の一つになっています。(初等教育科二年 柿内志乃)

高い入学満足度

本学におけるFD活動の一環として二〇〇〇年より行ってきた卒業時における入学満足度調査も、今年の調査で一回目になりました。記念すべき第一〇回目の調査結果は、目標に掲げている平均九〇%以上にはわずかに及ばなかったものの、平均八九・七%というこれまでで二番目に高い数値でした。

この結果以外にも今年の調査結果にはさらに特筆すべき点が二つありました。一つは、本学学生数の三分の二を占める保育科で、これまで最も高い九〇・二%の入学満足度を達成できたことです。もう一つは、専攻科を含む全学科を通じて、四〇%以下の満足度に回答した学生が皆無であったということです。

これらの調査結果は、我々教職員にとっても大きな励みとなりました。今回の結果に満足することなく二〇一〇年度もさらなる高みを目指して、教職員一丸となってFD活動に取り組んでいきます。(FD推進委員長 野崎秀正)

宮崎学園短期大学 こども音楽教育センター スプリングコンサート開催!!

平成二十二年三月二十二日(月)、大坪記念ホールにて、本学こども音楽教育センター主催「二〇一〇スプリングコンサート」が行われました。このコンサートで本学にあるこども音楽教育センターに通う子どもたち約五十名が舞台上に立ち、一年間を通して成長してきた姿をみせてくれました。二歳の子どもたちから中学生、高校生までの幅広い年齢の出演者たちが、アンサンブルやドラム演奏、ピアノ演奏など、自分たちの音楽を表現し、子ども同士がその音楽を共有する姿に感動のひとときとなりました。(音楽療法専攻科 後藤 祐子)



短大のこども音楽教育センターでは、平成三年から、子供たちの為の音楽療法や音楽教室を行っています。子どもたちの豊かな感性を、音や音楽で育てています。いつでも入会できます。

みんなで楽しく交流会



一・二年生が一堂に会しての交流会が年間数回開かれます。四月、春の忍ヶ丘祭終了後の焼肉会。七月、二年生の教育実習体験発表会。十一月、球技大会。十二月、クリスマス会。一月、卒業研究発表会など先輩と後輩の心温まる交流会が繰り広げられます。写真は、クリスマス会の様子ですが、学生たちが創意工夫を凝らし、協力し合って大いに盛り上げてくれました。(初等教育科長 松野 隆)

出張! 保育フェスティバル



保育科学生九名が二月二十八日(日)にクリエイティブセンター門川で開催された「子育てフェスティバル in 門川二〇一〇」に参加しました。これは本学保育科が日向市で実施した子育て支援センターの内容に感激された、子育て支援センター担当者からの出演の依頼により、実施したものです。

当日は、「南の島に行こう」というテーマで、参加した地域の子どもたちと一緒に橋を渡ったり、海に潜ったり、動物と出会ったりしながらの冒険あそびをしました。学生はこれまで学んできたことを十分に発揮し、参加された方々に大変喜んでほしい、素晴らしい活動となりました。(保育科 守川 美輪)

学生のキャリア形成 スパイラルを目指して

キャリアとは英語で経歴や軌跡を意味します。私たちは人生の中でさまざまな経験をし、それが私たちの人生を方向付けていきます。これからの人生を考えて、有意義な経験を積んでいけるように支援していくのがキャリア支援教育です。自分を知り、社会に目を向け、その生き方を積極的に考え、自分を成長させていくお手伝いをしています。また全国的に若者の早期離職や非正規雇用の増加は、貧困層の増加、社会の二極化につながり、今後の日本社会の活力維持にも影響が懸念される場所です。

本学は十五年連続就職率一〇〇%を誇ってきましたが、卒業時の就職だけに眼を向けるのではなく、生涯にわたって充実した人生を送れる資質能力を身につけさせるという視点から、平成二十二年よりキャリア支援教育に取り組むことになりました。本学のプランは学生のキャリア形成スパイラルを創出する全学的支援体制というもので、幸いなことに文部科学省の大学教育・学生支援推進事業に選定され、特別な財政支援も受けられるようになりました。従来の就職指導部をキャリア支援室に変え、就職指導課とキャリア支援課を置き職員も配置しました。本学教育全体でしっかりとした人材養成ができるように目標を明確化し、実現できる体制を組みます。学生自身も学校側も目標が達成できているか学習・教育状況を定期的にチェックし、改善していく体制を作ります。Plan・Do・Check・Action(修正)を自己管理していく(キャリア形成スパイラル)ことが大切なのです。

年間十五回程度「キャリアガイダンス」の時間を設け、就職意識の開発、人生設計、自己分析、ビジネスマナー、就職活動トレーニングを行います。また必要に応じて本学職員他、専門のキャリアカウンセラーに相談できる体制を整えています。目指すのは、全ての学生に、自分の人生を積極的に切り開いていける知識・態度・能力を身につけて貰う事で、本学学生の就職率一〇〇%未就職者〇%を実現することです。キャリア支援室に何でも気軽に相談してください。



キャリア支援室長 宗和 太郎